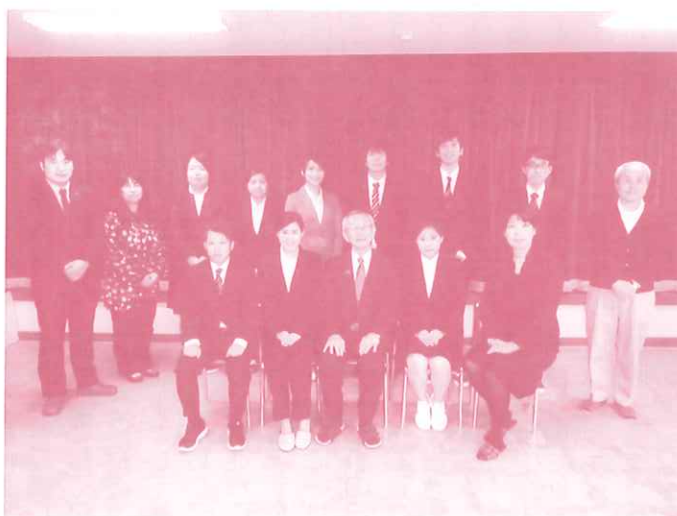


聖ヨハネ学園

# 後援会 だより

## 36



2017年度新規採用者のみなさんと

発行：聖ヨハネ学園後援会  
〒569-1032 高槻市宮之川原2-9-1  
TEL&FAX 072-687-0548

## 「いのちが かがやくために」



社会福祉法人 聖ヨハネ学園後援会

幹事 猿橋 靖

私が聖ヨハネ学園の理事を退任したのは、2011年の5月ですから、すでに6年が経過しています。理事といっても殆ど「並び大名」だったと思うのですが、ただ一つ記憶しているのが、今も各種会合の折りに皆さんが唱和されている「聖ヨハネ学園の理念」づくりに係わらせて戴いたことです。10年ほど前かと思いますが、理事、評議員、施設長など6・7人の方々と1年ほどの間に何度か討議を重ねてつくりあげたのが「いのちが かがやくために」です。

この「いのち」は、私自身若いうちから大事にしてきた言葉で、実は平安女学院時代に、中学・高校の教育目標を「いのちを大切に  
する教育」としました。一人ひとりの生徒たちがすべて、神様から与えられたかけがえない「いのち」をもつ存在であることを自覚してそれぞれ精一杯に生きることに、同時に、隣にいるなかまもまたそれぞれに  
「いのち」をもつ存在であることを認め合い支え合うこと……。

聖ヨハネ学園での討議でも、「いのち」は外からの働きかけによって輝かせるのではなく、いのちそれ自体が輝くものだという認識から出発していたと思います。そして、年令や環境、さまざまな障害の有無にも拘わらず、各施設の一人ひとりの利用者をはじめ、働く職員、職場、そして地域という広がりをもってそれぞれの「いのち」が輝くことを私たちの願いとしそのために力を尽くす……。

この種の言葉は永遠のものではなく、それぞれの時代に適合する表現に変化していくものでしょう。ただ最近の世の中の動きを見るにつけても「いのち」が貶められたり、抑圧されたりする事象が多く、心が痛みます。学校現場でのいじめ・差別(共に基本的人権の問題)や、政策としての「原発」や「沖縄基地」の問題、そして行き着く先は「戦争」。

これらの対極で「いのち」の側にあるのが「人権」と「平和」の憲法だと考えます。お互いに「平和を実現する」側の人でありたいものです。

# 聖ヨハネ学園児童生徒と 聖ヨハネ教会信徒との交流

聖ヨハネ教会信徒 東 敏勝

聖ヨハネ学園と聖ヨハネ教会との繋がりについては改めて記すまでも無く、すでに学園の沿革等をお読みになりご承知の事と思えます。この繋がりの中で行われるようになりました学園の子とも達と教会の交流行事についてご紹介したいと思います。

学園で生活する子ども達は、お盆やお正月、連休などには親もとや家族のもとに帰省するのですが、中には帰省できずに学園で過ごす子ども達もいます。この子ども達を職員の方々が、「せめてお正月だけでも」と手分けして自分たちの家庭に招かれていたそうです。1990年当時のこと、理事長とチャプレンに就任された教会牧師がそれを聞き、職員の負担を少しでも和らげようと子ども達を12月31日より1月2日まで教会に招き預けられました。元旦は礼拝後、信徒と子ども達皆で鍋を囲み、他日は牧師

夫妻が全て世話されました。見かねた信徒有志が手伝い始め、牧師にかかる経済的な負担を案じ、教会委員会でこれを協議、費用を教会会計で支出することになりました。

1999年、その牧師は転任され新任牧師を迎えました。新任牧師と当時の施設長の意向も踏まえ、教会委員会で協議し、信徒の負担も考慮して日帰りの『お正月一日招待』と称し、教会行事として続行することになりました。費用も予算化し、信徒からのカンパも募り、有志で企画・世話をするようになりました。そして、行事の目的を定めました。\*お正月に帰省出来ない子ども達を招待する。\*社会性を育てるために日頃経験出来ないことをさせる。この目的を踏まえ、もらったお年玉で今日一日の費用、電車賃(切符も自分で買う)から食事代(昼食・夕食)、買い物全てを賄う

事を求めました。

職員の方に聞くと、子どもたちの間では人気の行事となっているそうです。近年参加者も多くなってきました。聖ヨハネ教会にとつて大切な伝道活動となっているこの行事は、絶やさないで続けていければと思っております。

そして、2つ目は夏期キャンプの招待があります。

お正月の聖ヨハネ学園の子ども招待に刺激を受け、婦人会も子ども達の為に何か役立ちたいと、『お盆に帰省出来ない子ども達の一泊招待』を企画しました。始めは、子ども達とクッキーと一緒に焼いたりしていましたが、施設長に「男子



聖ヨハネ教会礼拝堂

も女子もどちらも喜ぶことは何ですか？」と尋ねたところ、「それは、プールでしょう。」というお返事でした。そこで、青年会、男子会の有志がプールに連れて行き、婦人会は手料理を作り子ども達の帰りを待ち、皆で夕食を囲みました。しかし、年月を経るうちに、婦人方はだんだん歳を取り負担に感じるようになりました。

他方、教会の夏の行事として行っておりました「ファミリーキャンプ」も、若者が就職や結婚で参加者が次第に減少し、立ち行かなくなってきたいました。そこで、「二つの行事をドッキングさせたらどうか」と話し合われ、出費は多くなるが、教会キャンプも学園招待行事も共に継続出来るということで、婦人会行事から教会行事に変わりました。子ども達の費用は、バザーの収益金から賄われ、有志のカンパも募りました。学園の子ども達は当初10名程度でしたが、年々子ども達の家庭状況が深刻化してきたのが、現在では職員も含め約30名程に増加しています。教会側の参加者は少ないものの、婦人会・男子会で頑

張っているのが現状です。

3つ目はイースターの招待(キリスト教の祝日・イエスキリストの復活された日)があります。

この行事は、永年男子会がイースター礼拝の後に信徒間の交流の場としてポウリング大会を催しておりましたが、1991年この行事に聖ヨハネ学園子ども達を招待するようになりました。当初は信徒の参加も多く、青年、壮年、元気な年輩者、婦人方も共にポウリングに興じ、子ども達との良き交わりの時となっておりましたが、教会信徒の高齢化で参加者が減少してきましたので、2013年にポウリングを取りやめ、現在は日曜学校の協力で、子ども達と教会内での手作りプログラムによりイースター礼拝後に、信徒と共に楽しく過ごしております。

以上3つの聖ヨハネ教会が取り組む交流行事を紹介させて頂きました。これらの行事も、信徒の高齢化でいつまで続けていく事が出来るかの不安もありますが、皆のあたたかい祈りと厚志に支えられながら続けていきたいと願っております。

卒園生の進路について 聖ヨハネ学園

今年度は六名の子もたちが学園を巣立っていきました。その進路ですが、T・T君は「株式会社コノミヤ」、M・K君は「山文商事株式会社」、K・M君は「エムチューブ株式会社」、F・Mさんは「株式会社亀の井亀井堂本家」、F・Hさんは「いとうくん株式会社」、K・K君は「淀川区医師会看護専門学校」で、就職五名、進学一名となっています。

4月から、ひとりでの生活となり、また、慣れない仕事で、色々大変だと思えます。送り出す側としては、新しい門出で、おめでたいことではありますが、ひとりではさびしくないか、仕事は上手くいっているのかと考えると心配ですが、私たちよりも、子どもたち

の方がはるかに大変ですから、私たち職員は、おおらかにそして優しく見守っていかねばならないと思います。担当職員が時々、連絡をとっていますが、まだまだ若いので、どうなるのかは分かりません。卒園生のお祝い会の挨拶で、「何か困ったことがあれば、いつでも連絡をして下さい、学園はあなたたちの第二の故郷ですから」とお話させていたしましたが、決して無理せず、一人で抱え込まないようにしてほしいと願うばかりです。



☆聖ヨハネ学園土曜会奨学金制度とは...

昭和38年立教大学BSA(聖アンデレ同胞会)のメンバーが土曜会という集まりを通して高校進学、特に私学に進学する際の授業料負担に對しての奨学金支援を継続して実施してまいりました。平成22年に土曜会の活動を発展的に解消され、学園に對して500万円を寄付金としていただきました。みなさまのご意志を「土曜会奨学金」として学園の子どもたちの進学奨励金制度として発足しました。学園後援会からも賛同を得て、平成24年度から年間30万円を基金に拠出をいただいています。このご寄付いただきましたみなさまに感謝とお礼を申し上げます。今後とも子どもたちへのご支援をよろしくお願いいたします。

本部および各施設に

ご協力いただいた方々 (敬称略)

(期間)二〇一六年四月二日〜二〇一七年三月三十一日

- 《本部》  
 暁星小学校シャミナード会  
 阿佐建築工務(株)  
 東 敏勝・直子  
 尼子 美喜 石井 英隆  
 石田 美郎  
 井上 眞也・美津  
 医療法人正治会 大橋内科  
 岩田幼稚園 梅原賀代子  
 上村サト子  
 小野 聖  
 学校法人藤学園 藤幼稚園  
 金光 秀晃 藤幼幼稚園  
 (株)ニコデザイン  
 北川 勝 富澤 実  
 京都聖母学院中学校高等学校 生徒会  
 草ヶ江幼稚園 園児一同  
 小出 裕司 小杉満寿美  
 佐々木晶子 笹部 哲生  
 佐藤 耕一 猿橋 靖  
 施設長一同  
 聖パウロ教会 婦人会  
 聖ミカエル幼稚園  
 聖ルカ幼稚園  
 高野 節子 田尻 忠邦  
 堤 三鈴  
 東洋英和女学院中高校 宗教部委員会  
 富山聖マリヤ教会  
 中島 健三 中嶋 公平  
 西田 明子 西村 逸郎  
 西村 正則・宣子  
 日本聖公会 大阪聖愛教会

- 日本聖公会  
 大阪聖アンデレ教会  
 日本聖公会 川口基督教会  
 日本聖公会 守口復活教会  
 日本聖公会東京教区 パウロ教会  
 野知 卓司・千秋  
 梅花幼稚園  
 春名 恭子 坂東 長輝  
 日学(株) 大阪支店  
 平岡 澄 増田 知乃  
 松崎 汎邦  
 水貝商店  
 三森 尚子 無記名  
 本井 雄次 藪内 正明  
 (有)レイズ 増田 知乃  
 芳我 秀一 義平 雅夫  
 米満 司郎  
 和田総合会計事務所 和田 浩孝  
 六六件 九二、四三五円

- 《聖ヨハネ学園》  
 本井 雄次 田尻 忠邦  
 瀧本 道子 宮脇 弘次  
 坂田 武宣 栗山 禧子  
 前田 享子 松崎 汎邦  
 濱田 高盛 橋本 悦雄  
 海野 晴男 加藤 進  
 砂田 直成 高谷 直樹  
 高橋 興史 森本 テル  
 義平香津子  
 西之川原自治会  
 大橋 内科  
 (株)愛弘  
 (株)インフォテック
- 《聖ヨハネ学園土曜会》  
 本井 雄次 坂口 鳩子  
 田尻 忠邦 石田 美郎  
 東 敏勝 大段紀代子  
 西村 正則・寛子  
 八木 秀之  
 (株)愛弘  
 平安女学院 中家庭センター  
 平安女学院 キリスト教文化センター  
 聖ヨハネ後援会 一三件 五一五、〇〇〇円
- (株)オーミヤ  
 (株)フロリスト花正  
 (株)万代  
 葵防災設備  
 大阪キリスト教短期大学  
 高槻市ひとり親家庭福祉会  
 大阪電業協会青年部会  
 大阪日酸&ウエルディング(株)  
 NHK歳末たすけあい運動  
 平安女学院 中家庭センター  
 平安女学院 キリスト教文化センター  
 (有)フリーマーケット123  
 上村サト子 石田 美郎  
 東 敏勝 大段紀代子  
 西村 正則・寛子  
 八木 秀之  
 大阪ヨハネ教会(日曜学級)  
 高槻聖マリヤ教会  
 高橋 興史  
 (聖マリヤ教会信徒)  
 笹部 哲生(ヨハネ教会)  
 堺聖テモテ教会  
 大阪聖ルシヤ教会  
 日本聖公会 (大阪教区婦人会)

《ミス・パール記念ホーム》

- 本間 悦子 大東 靖子  
 菊池 和夫 下川 栄子  
 山田 カツ 佐藤 栄子  
 王子 康三 乾 キクノ  
 岩森 時枝 岩森かほる  
 松本 久美 松崎 汎邦  
 福永芽久美  
 近森齒科 近森 信人  
 西川比佐子 岸本 善男  
 眞尾伊穂子 竹淵 久子  
 佐藤 典子 下満 寿美  
 政岡 旭子 宰務 幸子  
 吉田 正 本井 雄次  
 垣内 良夫 森中 央  
 田尻 忠邦 津川 和美  
 山田 幸子 北出 澄子  
 瀬上 桐子 土屋 秋子  
 二宮 英世 中塚 孝義  
 坂戸 邦夫 眞田 郁子  
 雅会・雅 弘継  
 (株)愛弘 石津自治会  
 (有)葵防災設備  
 四九件 八〇四、〇〇〇円  
 《地域生活支援センター光》  
 (株)愛弘  
 浅田 直紀 安達 圭司  
 安達 哲呂 市川あや子  
 今井 清信 江畑 誠  
 大洲幼稚園 大橋内科  
 加茂 勲 北野 絵美  
 楠本 悦雄 久保 茂  
 小林 法司 笹倉 健志  
 佐藤 典子 清水 幸子  
 杉 千工子 副島 克彦  
 副島 康子 本井 雄次  
 高谷 秀夫 高見澤 裕  
 瀧本 島子  
 近森齒科西武診療所  
 近森 信人  
 土井加代子 土井 昭

- 土井 智仁 豊田 理恵  
 中村 健 中嶋 暁  
 七篠ごんべ  
 茜穂書道会  
 平井 幸子 久永 恵子  
 松下 健太 松下けいこ  
 松本 健 松本美喜子  
 三崎 智美 三島麻美子  
 宮原 順子 宮脇 敏  
 本井 雄次 柳澤 好輝  
 山本満雄・政子  
 山尾 則夫 山尾 朝代  
 吉村 一哉 吉村 年子  
 吉村 浩二 吉村 花枝  
 八〇件 二、一九一、八六〇円

後援会にご協力いただいた方々(敬称略)

(期間二〇一六年四月一日〜二〇一七年三月三十一日)

- 秋山 公子 東 敏勝  
 安達 哲呂 石田 美郎  
 荒川 不二 伊勢田 健  
 井上 眞也・美津  
 今井 清信・温子  
 今中 嘉子 上田 浩子  
 上村サト子 上村みちえ  
 海野 晴男 大久保正彦  
 大阪保育福祉専門学校  
 大段紀代子 大西 修  
 大山 秩子 岡部 美枝  
 奥 康功 小野 光雄  
 小野田芳大 影山 章子  
 影山 敬祐 金光 秀晃  
 学校法人松蔭女子学院  
 (株)愛弘  
 (株)日冠自動車  
 北川 勝 北谷 公一

- 《下田部保育園》  
 (株)愛弘 水貝商店  
 (株)ジャクエツ 高槻支店  
 片山 明美 本井 雄次  
 上村サト子 田尻 忠邦  
 小島雅一・緑  
 瀬上桐子  
 九件 七〇、〇〇〇円  
 《聖ヨハネ子どもセンター》  
 (株)愛弘  
 寺本 一貴 大段紀代子  
 本井 雄次 田尻 忠邦  
 東 敏勝・直子  
 大阪愛徳幼稚園  
 七件 三六、〇〇〇円

- 北出みちゑ 久保 孝彦  
 倉戸 直実 黒崎光太郎  
 小泉 正子 小出 裕司  
 公益財団法人聖バルナバ病院  
 小牟田健三郎  
 斉藤 豊 酒部 清  
 佐藤 耕一 佐藤多紀子  
 佐藤 房子 佐藤 勇治  
 佐野 重雄 佐野 信三  
 シオン幼稚園  
 彰栄学園 宗教委員会  
 上甲 幸子 上甲 純司  
 菅 やゑ子 鈴木 璋三  
 清心女子高等学校  
 清心中学校  
 関口 尚正 瀬戸 栄一  
 高田須磨雄 竹林 徑一  
 竹淵 久子 田尻 忠邦  
 田中 幸二 田中ハツ子  
 田中 弘美 槻本 邦夫

- 土屋 秋子 戸部 依子  
 清水 幸子 富谷 晋  
 富田林聖アグネス教会  
 中栄喜久子 中尾由紀子  
 長崎南山学園生徒会  
 中芝 永次 中島 和子  
 中島 将雄 中西久忍夫  
 中野香津子  
 名古屋柳城短期大学  
 キリスト教センター  
 奈良慶治良 西村 逸郎  
 日本キリスト教会西宮中央教会  
 日本聖公会 川口基督教教会  
 日本聖公会  
 神戸聖ミカエル教会  
 日本聖公会 男子連合会  
 野知卓司・千秋  
 長谷川輝男 平野 聡  
 廣永 浩美 福永芽久美  
 藤岡 重子 藤村 孝子  
 古本純一郎 前田 都  
 増田 知乃 松下けいこ  
 眞庭 功 南 知子  
 無記名 宗像千代子  
 宗像 弘子 本井 雄次  
 森 一太  
 森 英雄・貞子 山田 譲  
 森中 央 山田 譲  
 山本 満雄・政子  
 吉川米酒販 四葉幼稚園  
 義平 雅夫 米満 司郎  
 一三一件 五四三、〇八〇円  
 (尚、複数回寄付していた  
 べくで記載しています)

「後援会だより」(36)  
 ●発行 社会福祉法人 聖ヨハネ学園後援会  
 〒五五九一〇三二 高槻市宮之川原二一九一  
 ●電話・ファックス (〇七二) 六八七〇五四八

平成28年度  
 (平成28年4月1日〜平成29年3月31日)  
**社会福祉法人 聖ヨハネ学園後援会**  
**会計報告**

後援会会費	98件	¥326,000
一般寄付金	16件	¥114,080
クリスマス寄付金	17件	¥103,000
合計	131件	¥543,080

上記金額を、聖ヨハネ学園本部会計の  
 金収入に繰り入れました。

**後援会《入会要項》**

年間会費 1) 個人会費 1口 2,000円  
 2) 団体・法人会員 1口 10,000円  
 いずれも、何口でもよろしく願います。

入会方法 振り替え用紙でご送金いただくだけでも  
 会員登録させていただきます。  
 郵便振替口座=00910-5-5789  
 加入者名=(社福)聖ヨハネ学園

寄付控除 ご寄付は次の法律により税法上の優遇措置が受けられます。  
 所得税法第78条第2項第3号該当  
 法人税法第37条第3項及び第4項第3号該当

